

そけいヘルニアの症状と治療法について

【そけいヘルニアとは】

俗に「脱腸」とよばれる病気です。立ったときやおなかに力を入れたときに内臓（腸など）が膨らんで、そけい部（足の付け根）の部分に出てくるのが典型的な症状です。痛みは伴わないことが多く、横に休んだり指でおすと引っ込むのが特徴です。日本人では年間10万人以上が発症しており珍しい病気ではありません。男性では大きくなると陰囊のほうまで腫れてきます。ほとんどは片側に発症しますので入浴中などに左右を比べてみれば自分でも比較的簡単に見つかります。



【ヘルニアの原因、なりやすい人】

そけい部（足の付け根）は構造上弱い部分があり、加齢により筋膜や組織が弱ってくると発症すると考えられています。成人では男性に多く、40歳代以上に増える傾向があります。立ち仕事の方、重いものを持つ方、肥満の方、便秘症でいきむ方、喫煙者などに発症しやすいようです。

【ほっておくと・・・】

時間とともに次第に大きくなることが多く、まれに出た腸が戻らなくなる（＝カントン：出っぱなしになること）ことがあり、痛みや吐気を訴えます。カントンを起こした場合は出た腸が壊死することが多く直ちに救急で病院にかかり、処置（手術）してもらう必要があります。

【ヘルニアの治療】

ヘルニアは薬やヘルニアバンドなどでは治りません。治療は手術のみとなります。カントンを起こすと大変なことになるので、症状がある方は早めに病院で診察を受けましょう。通常は局部麻酔（腰椎麻酔など）で30分～1時間ほどの手術です。メッシュ法といいヘルニア専用の合成繊維からなるシート状の補強剤を使用することで手術が簡単で手術後の後遺症（つれる感じや痛みなど）が少なくなり、手術後の再発も少なくなりました。メッシュの材質も進歩し半吸収性の柔らかいメッシュが登場して手術後がさらに楽になりました。



ヘルニア用のソフトメッシュ

【入院期間・日帰り手術など】

施設により差がありますが、3～7日間の入院で治療を行うところが多いようです。最近では費用や時間の節約のため日帰り手術も行うところが増えてきていますが、手術後は数日間の自宅での安静と休養が必要です。治療期間や方法、時期については担当の先生とよく相談されることをお勧めします。詳しいことは直接お尋ねください。

【川野病院では】

経験のある専門医がソフトメッシュ法にて行っています。ヘルニアの程度や年齢、基礎疾患、ご本人の希望などを考慮して期間を決めています。

- ①日帰り手術 ②1泊2日入院 ③3泊4日入院

日帰り手術には条件があります。診察や手術を希望される方はお気軽にご相談ください。

医療法人財団 川野病院 042 522 - 8161